

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは 1 と入力すること	成績処理システムでは 2 と入力すること
1	(1)	①	①	知識・理解	○最初のLを、小文字で書いている。 ・ <u>lisa</u>	Lisa
		②	②			8
	(2)		③	理解		イ
2	(1)		④	理解		ア
	(2)		⑤			ア
3			⑥	理解		エ
4	(1)		⑦	理解		ア
	(2)		⑧			ウ
	(3)		⑨			エ
5			⑩	表現	○綴りや文法の誤りが1カ所あるが、つながりのある適切な2文で答えている。 (例) Yes, I do. I study it in the <u>ivening</u>. (例) No, I don't. But I'm like English. ○1文目を Yes./ No. だけで答えているが、つながりのある適切な2文で答えている。 (例) Yes. I study it in the evening. (例) No. But I study math every day. など	○質問に対する答えとして、つながりのある適切な2文で答えている。 ・ Yes, I do. I study it in the evening. ・ No, I don't. But I study math every day. ・ Yes, I do. It's interesting. ・ No, I don't. It's very difficult. など
6	(1)		⑪	知識・理解		ア
	(2)		⑫			ウ
	(3)		⑬			イ
	(4)		⑭			エ
	(5)		⑮			エ
7	(1)	A	⑯	知識・理解	○最初のJを、小文字で書いている。 ・ january	January
		B	⑰	表現	○綴りや文法上の誤りが1カ所あるが、意味が通じる。 (例) ・ pley English (例) ・ are play English など	○「英語のゲームをする」という意味になるように、適切な英文を書いている。 ・ play English ・ do English ・ have English など
	(2)		⑱	表現	○綴りや文法上の誤りが1カ所ある。 (例) let's make sweet Japanese food. (例) Let's eet sweet Japanese food. など	○リサへの提案として適切な英文を書いている。 ・ Let's make sweet Japanese food. ・ Let's go to the party. ・ Let's have fun. など
					【授業改善の視点】 「聞くこと」や「読むこと」の学習において、内容を理解するだけでなく、「もし、自分だったら」という主体的な視点で自分の感想や相手に対する誘いなどを発表させる学習活動を取り入れていく。その際、受け手の反応も指導し、さらに会話が発展するように導く。	

大問	中問	小問	連番	観点	概ね満足できる解答状況	十分満足できる解答状況
					成績処理システムでは 1 と入力すること	成績処理システムでは 2 と入力すること
8	(1)		19	知識・理解	○綴りや文法上の誤りが1カ所ある。 (例) <u>what</u> など	What
	(2)		20	理解	○一部の情報が抜けているが、理由を理解して記述している。 (例) 日本の甘い食べ物はとても人気があると知ったから。 (例) 甘い食べ物は、リサの家族でとても人気があると知ったから。 など	○リサが話した内容を理解し、適切に記述している。 ・日本の甘い食べ物（スイーツ）は、リサの家族でとても人気があると知ったから。 など
	(3)		21	表現	○綴りや文法上の誤りが1カ所あるが、2語以上の英語1文で、お気に入りの食べ物を答えている。 (例) It <u>sakuramochi</u> . (例) My <u>favarite</u> Japanese food is <u>ohagi</u> . (例) I favorite Japanese food is <u>ohagi</u> . など	○2語以上の英語1文で、お気に入りの食べ物を答えている。 ・It's <u>sakuramochi</u> . ・My favorite Japanese food is <u>ohagi</u> . ・I like <u>kinakomochi</u> . ・I like <u>zenzai</u> , too. など ※未習語のローマ字表記については、減点の対象としない。
	(4)	1	22	表現	○綴りや文法上の誤りが1カ所あるが、スピーチの流れに合う英語1文を書いている。 (例) I like Kumamoto dialect very <u>mach</u> . など	○スピーチの流れに合う英語1文を書いている。 ・I like Kumamoto dialect very much. ・They are very interesting. ・Let's use them! など
		2	23	理解		・ばってん、しかし（でも） ・たいぎゃやか、とてもよい など
	9	1 2	24	関心・意欲・態度	○自分の名前を書き、自己紹介の文を1文書いている。 ・I'm Taro. I like English very much. ・I'm Hanako. I like <u>manga</u> , too. など	○自分の名前を書き、自己紹介の英文を2文以上書いている。 ・I'm Taro. I like English very much. I study it every day. ・I'm Hanako. I like <u>manga</u> , too. My favorite <u>manga</u> is <u>Naruto</u> . など ※次のような文も、表記や文法上の誤りはあるが、内容の理解に大きな支障をきたさない範囲とみなす。 ・i'm Emi. ・I like <u>Japanes</u> , too. ・I <u>m</u> like <u>manga</u> very much. など
		3	25	関心・意欲・態度	○テッドから来たメールの内容に関連のない質問をしている。 ・Do you play soccer? ・Are you a baseball fan? など	○テッドから来たメールの内容に関連した質問をしている。 ・What <u>manga</u> do you like? ・Do you like <u>Naruto</u> ? ・Do you study <u>kanji</u> ? など ※次のような文も、表記や文法上の誤りはあるが、内容の理解に大きな支障をきたさない範囲とみなす。 ・ <u>what</u> <u>manga</u> do you like? ・Do you <u>studies</u> <u>kanji</u> ? など
					【授業改善の視点】 伝える相手を意識して自分や自分の紹介したい人（もの）について、話したり書いたりする活動を普段の授業から取り入れていく。その際、代名詞を用いたり、相手の情報に関連した質問などを取り入れたりしながら、より一貫性の高い文章を作るよう指導する。	

